

石村修氏の「EU『憲法』条約草案の誕生とその法的性格」を読む

この文章は、進行する欧州統合を好意的に捉えた上で、今策定されようとしているEU「憲法」の位置付けを既存の学体系の中でいかに整合させるか、という点に主要な問題意識が置かれている。

「憲法」を媒介にした行政・裁判上での共通法規の適用、予想される三形態

1. 各国内での改憲を通じて共通部分を拡大
2. 各国が共通に持つものを憲法化
3. 新たな憲法の策定

独連邦憲法裁判所とEC裁判所

- 独憲法裁判所：「折に触れてEC/EU法を判断」
- 独政府：独憲法裁判所の判断を尊重
- 解釈権
- EUに対する協力

憲法と国家

- 国家あつての憲法
- 憲法概念の変革
- 憲法の歴史と現在
- 多様なEU観
- 国家の定義：「国土・国民・国家権力」
- EUの権限
- 民主主義の赤字
- 開放的憲法学

参考URL

- 「民主主義の赤字」他<http://www.kobe-c.ac.jp/~a-kawamu/pages/seminar/seminar2001/text6.html>
- ドイツ基本法<http://www.fitweb.or.jp/~nkgw/dgg/>
- 憲法-Wikipedia<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%86%B2%E6%B3%95>